

公団地内の ネット予約可能な駐車場数を大幅拡大

大阪府住宅供給公社(大阪市)は11月17日より、同社が所有する公団地内でネット予約できる駐車場の区画数を大幅に拡大した。2016年から実施した試験サービスが本運用となり、拡大に踏み切った。対象となるのは、吹田、箕面、豊中、池田、高槻、茨木を含む、府内16の市で、駐車場の数は85団地2,800区画。



駐車場の様子。駐車料金は地域により異なるが、同サービスを使えば、コインパーキングのように満車で駐車できないという事態は避けられる。

拡大の背景にあったのは、入居者の37%が65歳以上の高齢者であるという実態。入居者の家族や介護等の訪問者に対して、公団地内の駐車場確保は緊急に対応すべき課題だった。

利用希望者は、予約制駐車場マッチングサービス「B-Times」、もしくは駐車場予約アプリ「akippa(アキッパ)」、どちらかへの登録が必要。「介護事業者に限らず、一般の方でもサービスは利用可能です。サービス開始後、公団地内の違法駐車が減り、地域の生活の利便性向上にも期待が寄せられています」と同社の担当者は語る。

外国人観光客が選ぶ無料観光スポットに アサヒビール吹田工場が大阪で唯一のランクイン

世界各国800万以上の宿泊施設、航空会社、観光名所、レストランを掲載し、7億件以上の口コミが寄せられる世界最大の旅行サイト、トリップアドバイザー。同サイトの日本法人であるトリップアドバイザー株式会社が過去1年間に投稿された口コミをもとに「旅好きが選ぶ無料観光スポット2018」を発表した。関東にあるスポットがランキングの過半



アサヒビール発祥の地として、100年以上の歴史を持つ吹田工場。

数を占める中、大阪で唯一ランクインを果たしたアサヒビール吹田工場が、昨年さらに順位を上げ11位に選ばれた。同工場ではアサヒビール発祥の地として操業開始当時の写真の展示や、当時の建物の一部も貴重なモニュメントとして残されており、ワールドビアカレクション展示コーナーも見学できる。案内係による製造工程やミニ知識の紹介の後は、できたてスーパードライの試飲ができ、利用者から人気を集めている。国内のみならず外国人観光客も多く訪れているため、申し込みは予約制・先着順となっている。工場見学の申し込みはWEBまたは電話にて受付。アサヒビール吹田工場06-6388-1943。

「滝ノ道ゆずる」が ゆるキャラ®グランプリ2018で全国5位

箕面市PRキャラクター「滝ノ道(たきのみち)ゆずる」が、11月に東大阪市で開催された「ゆるキャラ®グランプリ2018」で全国5位に入賞した。昨年の9位から順位を上げ、3年連続トップ10入りという快挙だ。「滝ノ道ゆずる」は、箕面のゆずと、もみじの里をPRするために生まれたゆずのキャラクター。様々な

授賞式の様子。約3ヵ月間のインターネット得票数と、投票会場での得票数を合計した結果、19万2326票を獲得した。



グッズも販売しており、来春には新たにぬいぐるみストラップも発売予定。市の担当者は、「夏はラジオ体操に参加したり、秋は駅前で観光客をお迎えしたり。日頃の活動が、今回の応援につながったと思います。箕面市への愛着につながってほしい」と、話す。

豊中市が「居住支援協議会」を 大阪府内の市町村で初めて設立

豊中市は11月、住宅確保が困難な人に対して民間賃貸住宅への入居支援を行うため、福祉事業者団体や不動産事業者団体と「豊中市居住支援協議会」を設立した。大阪府内では初めての試み。同市在住、在勤、在学中の低額所得者や高齢者、障がい者、被災者などで、住宅確保が特に困難な人に、入居相談や物件紹介などを行い、民間賃貸住宅に円滑に入居できるよう支援する。また、独居高齢者などへの見守りや安否確認などの居住支援サービスなどの情報提供も行う。なお、物件の内覧や賃貸借契約については、

相談窓口は、豊中市役所第二庁舎5階。入居希望者の状況を把握している支援者の同行が望ましいとしている。



連携する不動産事業者が実施する。担当者は、「入居希望者のほか、空き家などをお持ちの、家主の方からの相談も受け付け、賃貸借における双方の不安解消につなげていきたい。今後はセミナーなども積極的に行い、この取り組みの輪を広げていくよう努めます」と、さらなるサービスの充実を図りたいとしている。相談は面談を通して行う(無料・要電話予約)。問い合わせや面談予約など詳細は、豊中市居住支援協議会06-6858-2742まで。

豪トーンバ市一団が 姉妹都市の高槻市を訪問

高槻市市制施行75周年のお祝いと大阪府北部地震の見舞いのため、高槻市の姉妹都市、オーストラリアのトーンバ市から、ポール・アントニオ市長のほか13名が、11月8日～13日に同市を訪問した。6月の大阪府北部地震の後、トーンバ東ロータリークラブが中心となって募金活動が行われ、約130万円を災害寄附金として授与した。募金は、市の復興に充てられる。



トーンバ市からの一団と高槻市長ほか。

滞在期間中、同行していたアボリジニパフォーマーが、市内の小中、高校や高槻市農林業祭など各地で民族楽器やダンスなどを披露した。会場では、普段目にする機会のない光景に盛り上がり、児童、生徒達がアボリジニの人々に直接フェイスペインティングをしてもらった場面もあった。同市の担当者は、「姉妹都市提携から27年間、節目ごとに両市は訪問し合い、友好を深めてきました。今後はスカイプ等を利用して英語と日本語の言語交流をするなど、もっと気軽に交流できる場を広げたいと思っています」と話す。



農林業祭でアボリジニの踊りを披露。

安満遺跡公園 3月に一部開業 オープニングイベントも

高槻市が整備を続けている「安満遺跡公園」が、全22ヘクタールのうち4ヘクタールを3月23日にオープンする。当日は、レストラン&カフェ「SUNDAY'S BAKE 569」やポーネルドの子どもの遊び施設「プレイヴィル」(有料)が同時開業するほか、フードブースの出店やステージイベント、体験型プログラ



一次開園エリアは同市八丁曙町で、阪急高槻駅徒歩10分、JR高槻駅徒歩13分。問い合わせは、同市安満遺跡公園整備室072-674-7393。

ムなども行う予定。安満遺跡公園は、京大農場跡地とその北側の空間で、弥生時代の安満遺跡を活かし、防災機能も併せ持つ。2021年に全面開園すると、甲子園球場約5個分という広大な公園になる。市の担当者は、「今後、高槻市のシンボルになると思います」と、多くの来園者を期待する。

ひったくりの被害に遭わないために

協力:大阪府警察



大阪府下のひったくりの件数は年々減少傾向にあるものの、平成29年中は646件、平成30年10月末時点では369件発生しており、どちらも全国ワーストの発生件数となっている。

中でも20代女性の自転車前かごからの被害が多くなっており、18時～深夜1時の暗い時間帯で最も多く発生している。ひったくり被害に遭わないために、4つのポイントを実践しよう。

【ひったくり被害に遭わないための4つのポイント】

- バッグは、車道と反対側に持とう
- 携帯電話・音楽プレーヤーを利用しながらの通行はやめよう
- 時々後ろを振り返り、不審者等いないか確認しよう
- 自転車の前かごには、ひったくり防止カバーを取り付けよう

大阪府警察では毎月11日を「ひったくり防止デー」とし、防犯キャンペーン等行っている。少しの注意と自主防犯対策を推進することで、被害に遭わないよう心がけよう。